

報 告 人口減少対策の提言について

テーマ①（仮）かけがわ健康長寿基本条例
への取り組み

テーマ② 若者に魅力ある掛川市について



掛川市議会



人口減少対策の提言について

議会報告会の目的と成果

議会報告会の目的(1)

[市議会の役割・責務]・・・掛川市自治基本条例 8条

- 1) 議決機関であり、市長等に対する監視機関である。
(本会議、委員会)
- 2) 政策形成機能の充実を図るため、調査・研究を行うとともに、市民の意思を適切に反映すること。
(政策討論会、議会報告会)
- 3) 議会活動について、積極的に情報発信するとともに開かれた議会運営努めること。
(議会の傍聴、議会インターネット中継、議会だよりの発行)

注)議会報告会は、議会全体としての活動であり、議員個人の活動でない。

議会報告会の目的(2)

「議会報告会」・・・掛川市議会基本条例 5条

議会は、議会報告会を開催し、議会活動に対する説明責任を果たすとともに**市民の意見を把握し、議会活動に反映させるものとする。**

以上により、

◎ 掛川市議会は、年に1回、中学校区単位**9カ所**で「**議会報告会**」を開催する。

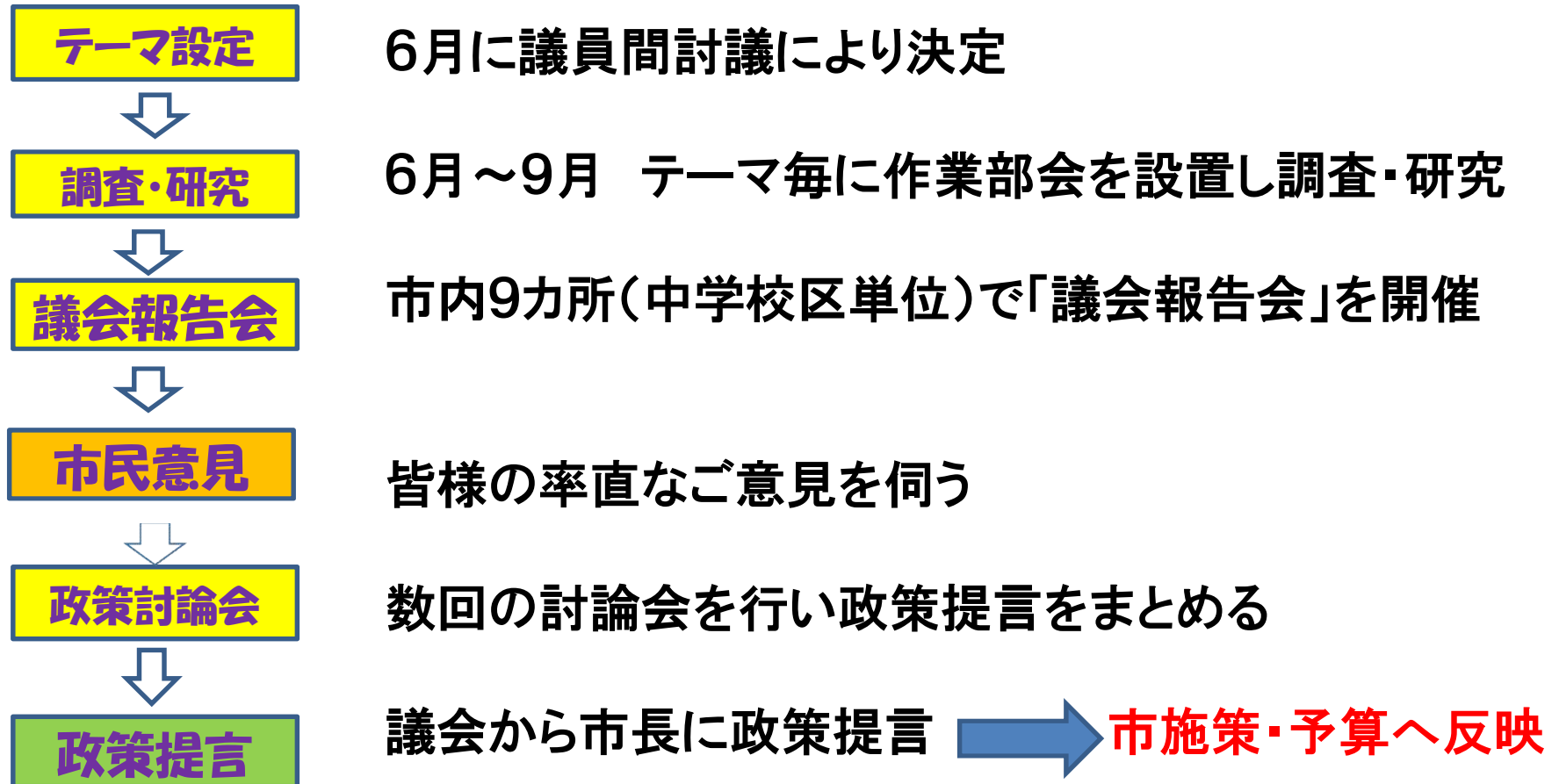
◎ 開催内容は、市政に関する課題(テーマ)を設定して調査研究を行い、

その成果を報告し、市民の意見を伺い、政策討論会を経て**政策提言**する。

なぜテーマ設定するのか

- 1) 政策提言の内容は政策・予算として反映され、市当局から「地区集会」等で報告している。
- 2) 掛川市議会としては、今後、課題となる事項をテーマ設定し、市民の皆様のご意見を頂き市政に反映する。
- 3) テーマは、議員間で議論し設定する。そして議員自ら調査・研究し、施策の方向性を「議会報告会」で報告する。

政策提言までの流れ



「人口減少社会に掛川市はどう対応すべきか」

- 1 **人口減少社会の基本認識**…人口動態、社会保障制度の課題等
- 2 **超高齢社会への挑戦**…介護保険を切り口に高齢社会への対応
- 3 **進む少子化への対策**……少子化の要因、働く場所の確保等

以上のテーマに沿って、現状分析・課題、政策の方向について報告し、皆様のご意見を頂いた。

「人口減少社会の基本認識」

- ①働きたくても働く場所がない。
- ②このようなことはマスコミ報道で承知している。具体的な施策を。
- ③人口減少社会は全国的な問題、掛川市に住みたくなる施策展開を。

「超高齢社会への挑戦」

- ①75歳までは高齢者ではない。元気な高齢者にもっと頑張ってもらうこと。
- ②助け過ぎ行きすぎた医療・介護を見直すこと。
- ③健康寿命を延ばす施策の充実を。

「進む少子化対策」

- ①結婚・妊娠・出産・育児・子育ての切れ目ない支援が必要。
- ②経済面だけでなく、女性にとって、一番つらいのは時間がないこと。
- ③女性が産休後職場復帰した場合職場の雰囲気の問題はないか。

提言書「掛川市の人口減少対策への提言」 議会から市長 H27. 3. 19

1 基本的な考え

- (1)人口目標・・ *まずは減少に歯止めをかけ、将来的には増加を目指す*
- (2)人口減少社会危機感の共有・・ *様々な影響を分析し市民と共有*
- (3)社会減・自然減対策強化・・ **個別施策は提言参照**
- (4)総合計画における人口目標の明示
- (5)地方創生施策活用
- (6)広域連携・・ 広域連携の推進
- (7)若者や女性の意見の反映

2 人口の社会減対策

（1）雇用の創出

- ①内陸フロンティアの早期実現
- ②農業・中小企業等地域産業の育成

（2）若者・女性のUターン、Iターン

- ①流出実態調査及び分析
- ②郷土愛・企業紹介
- ③女性が志向する産業育成
- ④理系女子の育成

（3）定住・移住促進

- ①若者が住みたくなるまちづくり
- ②移住相談窓口等の充実

3 人口の自然減少対策

(1) 少子化対策

- ①結婚支援…ふくしあ等の活用、ひとり親支援他
- ②市民意識の改革…固定的男女役割、企業の職場優先風土の改革他
- ③特徴的な子育て支援事業の充実…多子世帯経済支援、不妊治療助成他

(2) 高齢者対策

- ①元気高齢者の社会貢献…高齢者人材バンクの創設、まちづくりの担い手他
- ②介護保険事業の維持…健康寿命の延伸、在宅介護の推進他
- ③介護漬け・医療漬けからの脱却…家族・地域介護、看取り他
- ④高齢者多住団地対策…団地再編計画の策定

政策提言内容は

☆掛川市第2次総合計画(基本構想)に反映された。

☆掛川市地域創生総合戦略(案)に反映された。

☆反映事例の抜粋は次のスライド

○ 議会報告会でのご意見、政策提言内容および反映内容は別紙を参照下さい。

政策提言の反映事例(抜粋) (1)

①人口目標(基本的な考え)

「政策提言」 まずは減少に歯止めをかけ、将来的には増加を目指す

「総合計画」 2040年に人口12万人を達成するために2025年11万5千人を目標とする。

②雇用の創出(人口の社会減対策)

「政策提言」掛川市の優位性を活かした企業誘致や地域産業の振興

「総合計画」掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする。

・地域経済の活性化 ・起業を支援 ・地域産業の創出 他

「総合戦略」掛川にしごとをつくり安心して働けるようにする。

・かけがわワーキングシステムの構築 ・内陸フロンティアプロジェクトの推進 ・新規起業者支援 ・掛川の農の海外販路開拓 他

③少子化対策(人口の自然減対策)

「政策提言」 従来からの少子化対策を再点検し、子育て支援戦略を樹立して確実に施策推進

- ・結婚支援
- ・子育てに関する市民意識の改革
- ・子育て支援

「総合計画」 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・希望出生数をかなえる環境整備
- ・子育て支援の充実 他

「総合戦略」 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・出会い・結婚支援
- ・子育て世代の居住環境支援
- ・子育て世代の経済的負担の軽減 他

④高齢者対策

「政策提言」 高齢者福祉施策を再検討し、施策の充実

- ・元気高齢者の社会貢献
- ・介護保険事業の維持（健康寿命対策）
- ・介護・医療漬けからの脱却（在宅介護、在宅医療）
他

「総合計画」 高齢者の生きがいをもてるくらしづくり

- ・家庭、地域、行政の連携による支援充実
- ・健康寿命の延伸 他

「総合戦略」 ふくしあでつなぐ地域の健康づくり

- ・かけがわ生涯ワーキングシステムの構築
- ・介護従事者の確保と家庭介護支援
- ・かけがわ「生涯お達者市民」プロジェクト推進 他

○平成26年度の政策提言は、第2次総合計画及び地域創生総合戦略事業計画策定に向けての提言でした。

○具体的な事業計画については、これからになりますので、提言内容が具現化されるよう議会活動をします。

☆議会全体としての「政策提言」は当局においても最大の配慮がなされる。

(仮)かけがわ健康長寿基本条例への取り組み

健康と医療に係る条例制定に向けて



掛川市が掲げた3つの日本一

健康医療 日本一

(仮)かけがわ
健康長寿基本条例

議会主導

平成28年4月施行(予定)

環 境 日本一

環境基本条例

行政主導

平成18年1月施行

市民活動 日本一

自治基本条例

市民主導

平成25年4月施行

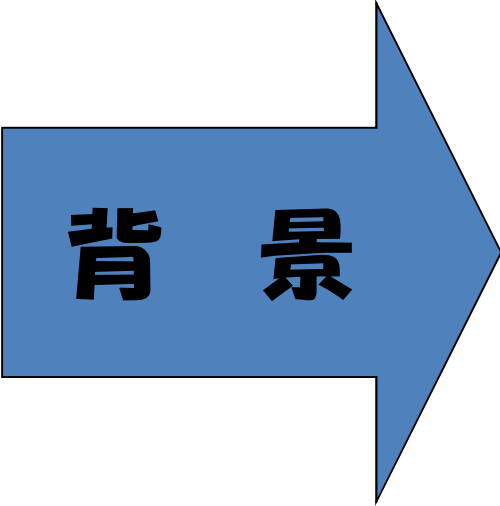
掛川市議会の取り組み

- 特別委員会の設置

平成25年 「新病院支援・地域医療対策」

平成26年 「中東遠総合医療センター支援」

平成27年 「地域医療基本条例制定」



背 景

地域医療が崩壊する

なぜ、条例制定が必要か？

将来に渡って健康で元気に暮らす

安心して保健医療サービスを受ける事が出来る

協働して地域の医療を守る

住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる仕組み作り

条例の目的・理念

①市民ができること

- 目的・・・健康長寿社会の形成
- 理念・・・市民自らが行う健康管理及び健康増進のための努力を基礎とし、医療、保健、福祉、介護の密接な連携のもとに推進。

②地域社会ができること

- 目的・・・地域医療体制の確立
- 理念・・・市民・医療機関及び市が一体となった地域全体で推進。

持続可能な地域医療

- ① 住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせる仕組み
(地域包括ケアシステム)
- ② 市民の意識改革
 - ・ 地域医療を守り育てようと思う市民意識が大切
 - ・ 子供達や孫の代まで質の高い医療システムを繋いで行く

市民にお願いしたいこと

- ①健康診査を積極的に受診し、かかりつけ医、かかりつけ薬局を持つように努める。
- ②良好な生活習慣に留意し予防に努める。
- ③適正で良識のある受診方法に留意して医師等の立場を理解し信頼と感謝の気持ちを持つ。
- ④人生の最終段階における医療や過ごし方をどのようにしたいか書き記すとともに近親者と良く話し合い意思疎通に努める。

医療機関にお願いしたいこと

- ①患者に対して医療に関する適切な説明を行い、信頼関係の構築に努める
- ②一次医療・二次医療の機能分担を明確化し、患者に最適な医療を提供するために連携を図ることに努める

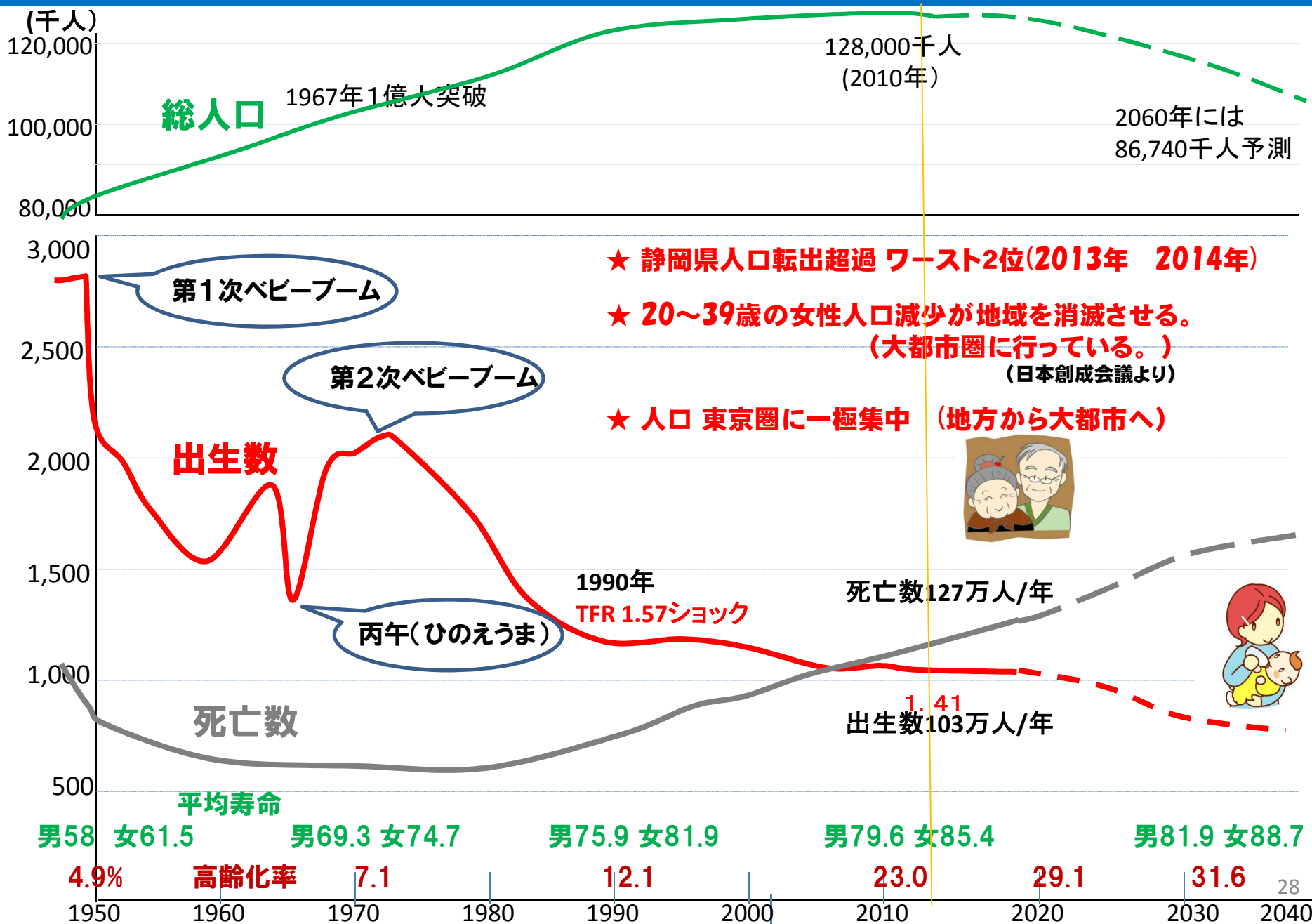
掛川市が取り組むべきこと

- ①市民の健康長寿・健康増進に関する施策を実施する
- ②地域医療支援センター「ふくしあ」を拠点とした在宅医療・在宅介護の充実を図る
- ③医療機関団体等と連携して、地域医療を推進するための施策を実施する

若者に魅力のある掛川市に向けて

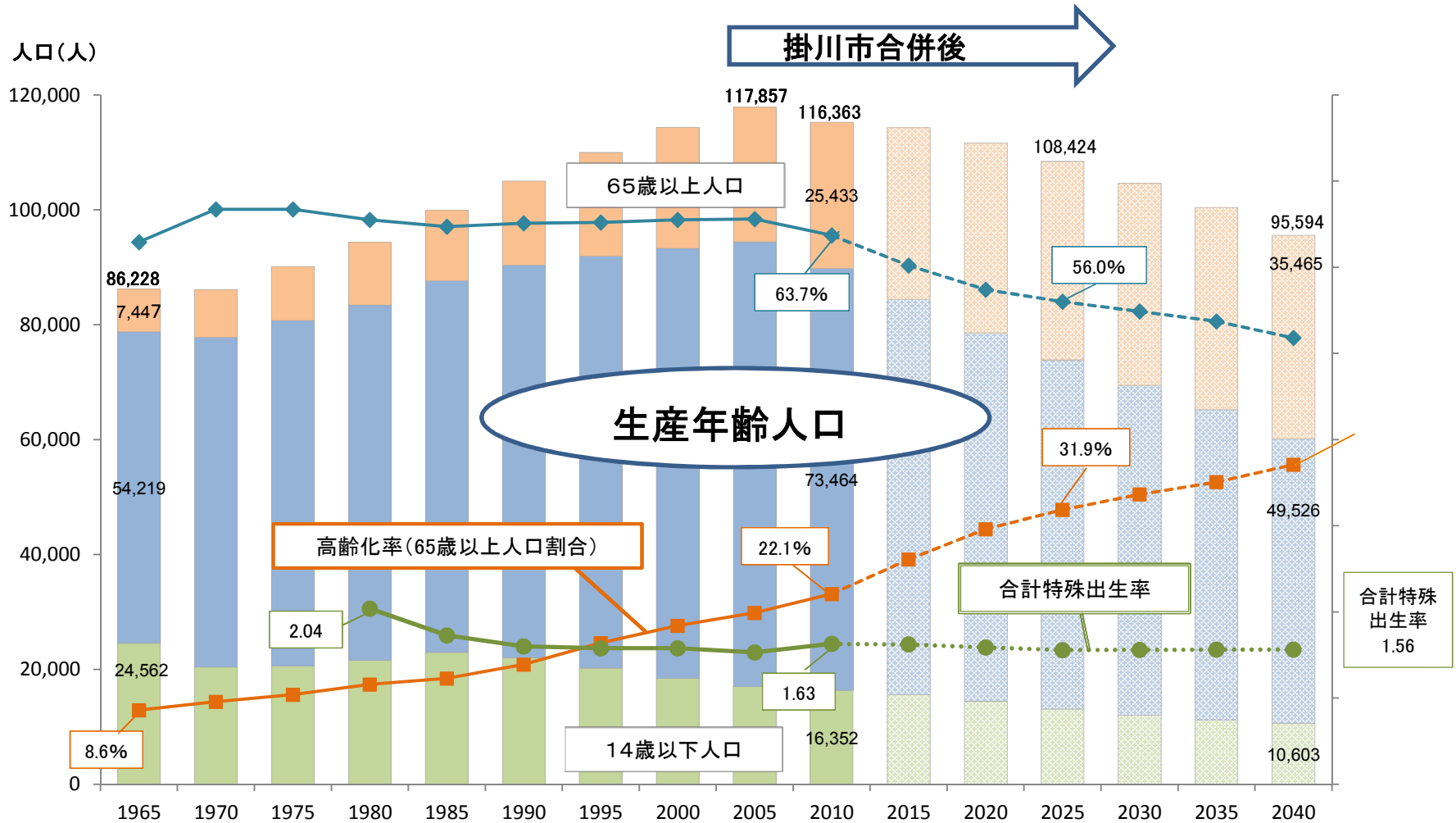
- ①日本の総人口、出生・死亡数 推移
- ②掛川市の生産年齢人口
- ③市議会で質問された内容と現在の取り組み

日本の総人口、出生・死亡数 推移



掛川市の生産年齢人口

掛川市の人口の推移



(出所) 1965～2010は国勢調査。

2015以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

若者定住増加に向けての一般質問

(平成25年6月～27年6月 全9回 218質問 内80問)

①働く場所に関する質問数 8問

①IT企業等、小規模企業誘致、企業支援に関して

②障がい者新規就労500人サポート事業の進捗状況は

③二千人雇用の実現は

④雇用、中小企業対策について ★

⑤地域経済の柱となる豊かで力強い農業確立のポイントは

⑥掛川市の障がい者雇用の推進は

⑦障がい者雇用後のサポート体制は

⑧IT企業、観光企業誘致を推進できるか

雇用中小企業対策についてその後



※掛川版地域プラットフォームとは機関が
より連携し総合的に創業支援活動を行うこと

②住居問題に関しての質問数 3問

①空き家などの適正管理に関する取り組みは ★

②空き家バンクの創設は ★

③若い世代が住みたくなるような住居支援（H27. 9月議会）

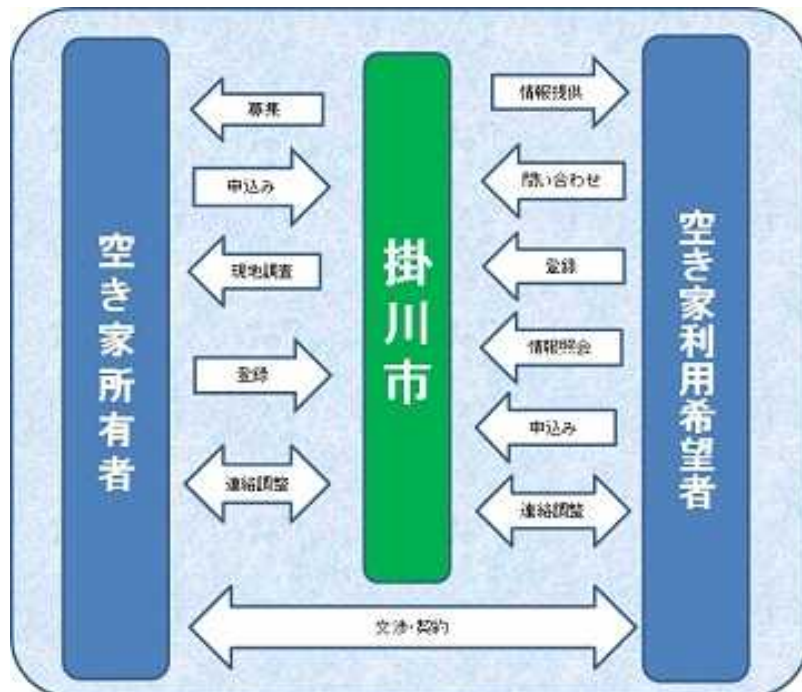
空き家バンク創設について

掛川の中山間地域の少子高齢化を防ぐ

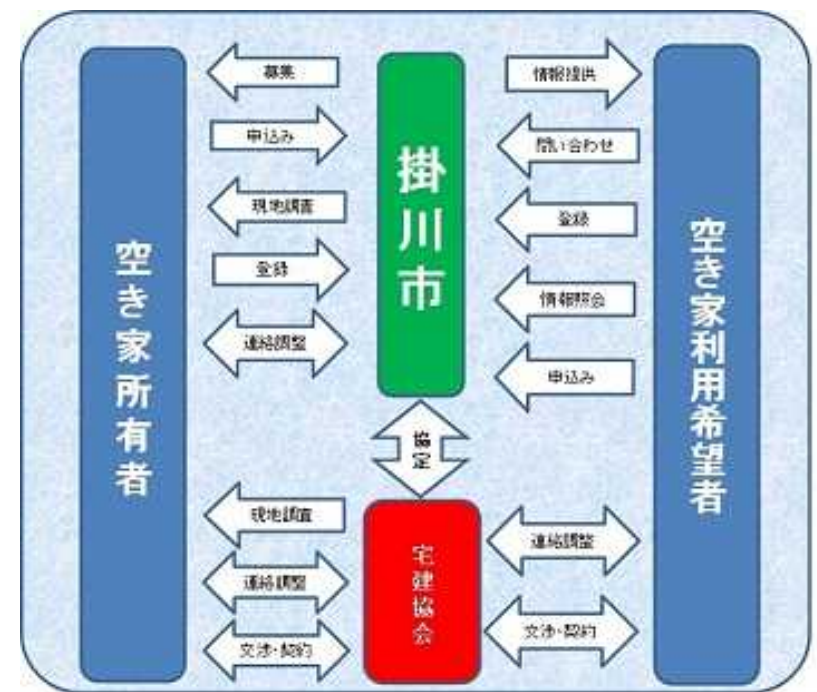
掛川市中山間地域空き家バンクが組織されました！

対象地域 地区全体 : 日坂、東山、原泉、原田
地区の一部: 初馬8区、倉真4・5・6区、知連山中(桜木)
滝ノ谷・長間(西郷)、本谷(大須賀第二)

直接型



間接型



若者定住増加に向けての一般質問

③子育て問題に関する質問数 32問

- ①小中学校の二学期制の評価と今後の方針は
- ②放課後学童保育の環境と運営の改善は
- ③待機児童ゼロ政策は ★
- ④学校・地域社会・家庭の教育連携で育てる知徳体
- ⑤待機児童を真にゼロにするため取り組むべき ★
- ⑥乳幼児教育の今日・明日・未来へ、希望が見える施策を
- ⑦小中学校の新たな防災・減災教育は、学園化構想と共に
- ⑧いじめの現状の対策は
- ⑨教員は多忙、先生が不足では
- ⑩学童保育と教育機関との更なる協力体制の必要性は
- ⑪人づくり構想かけがわにおける家庭教育のあり方は
- ⑫南部地区における幼稚園の再編計画は
- ⑬より安全・安心の学校給食を提供するために
- ⑭小学校トイレの洋式化を要望する声は多くある

- ⑮掛川市の子ども貧困対策は
- ⑯学校給食におけるノロウイルス対策は
- ⑰教育機関誘致の意図は
- ⑱報徳の教えが根付く高等教育機関を
- ⑲児童の健全育成を目的にした小学校運動場の芝生化は
- ⑳高等教育機関との連携は
- ㉑掛川市の子ども子育て支援新制度への対応は
- ㉒学童保育所未開設の日坂小保護者の声に応じて開設を
- ㉓子育て支援策を今後の施策の中でどう位置付けるのか
- ㉔新たな学校給食センターの整備概要は
- ㉕道徳は教科化することで効果があがるか
- ㉖「子育て日本一」をめざす子ども・子育て支援の具体策は
- ㉗小中学校の道徳が官制道徳になろうとしている
- ㉘戦後70年、小中学生や市民に先の戦争をどう伝えるか
- ㉙教育委員会制度の改革について
- ㉚保育所の待機児童対策は ★
- ㉛歴史、文化の伝承は、小中学校にガイドクラブを
- ㉜教育体制の強化を図るべきではないか

保育所の待機児童対策

待機児童対策として新たに**保育事業所設置**

国定義では、(H27,4月時の待機児童数は政令市を除いて県内1位の56人)
不承諾児は180人

- ①第二小学校隣接地に新たに0～2歳児を対象とした**乳児保育所**を建設
※0～2歳児合計72人(予定)
- ②東山口(本所)地内に新たに**小規模保育事業所**を設置
※0～2歳児合計15人(予定)
- ③宮脇市営住宅隣接地に新たに**小規模保育事業所**を設置
※0～2歳児合計19人(予定)
合計 106人解消
- ④上土方工業団地内に**企業内保育所**新たに設置
※合計19人(予定)
- ⑤他**市内3保育所、1家庭内保育事業所**内に**小規模保育事業所**を新たに設置
※合計37人(予定)

※H27. 9月議会補正予算

合計162人(予定)

若者定住増加に向けての一般質問

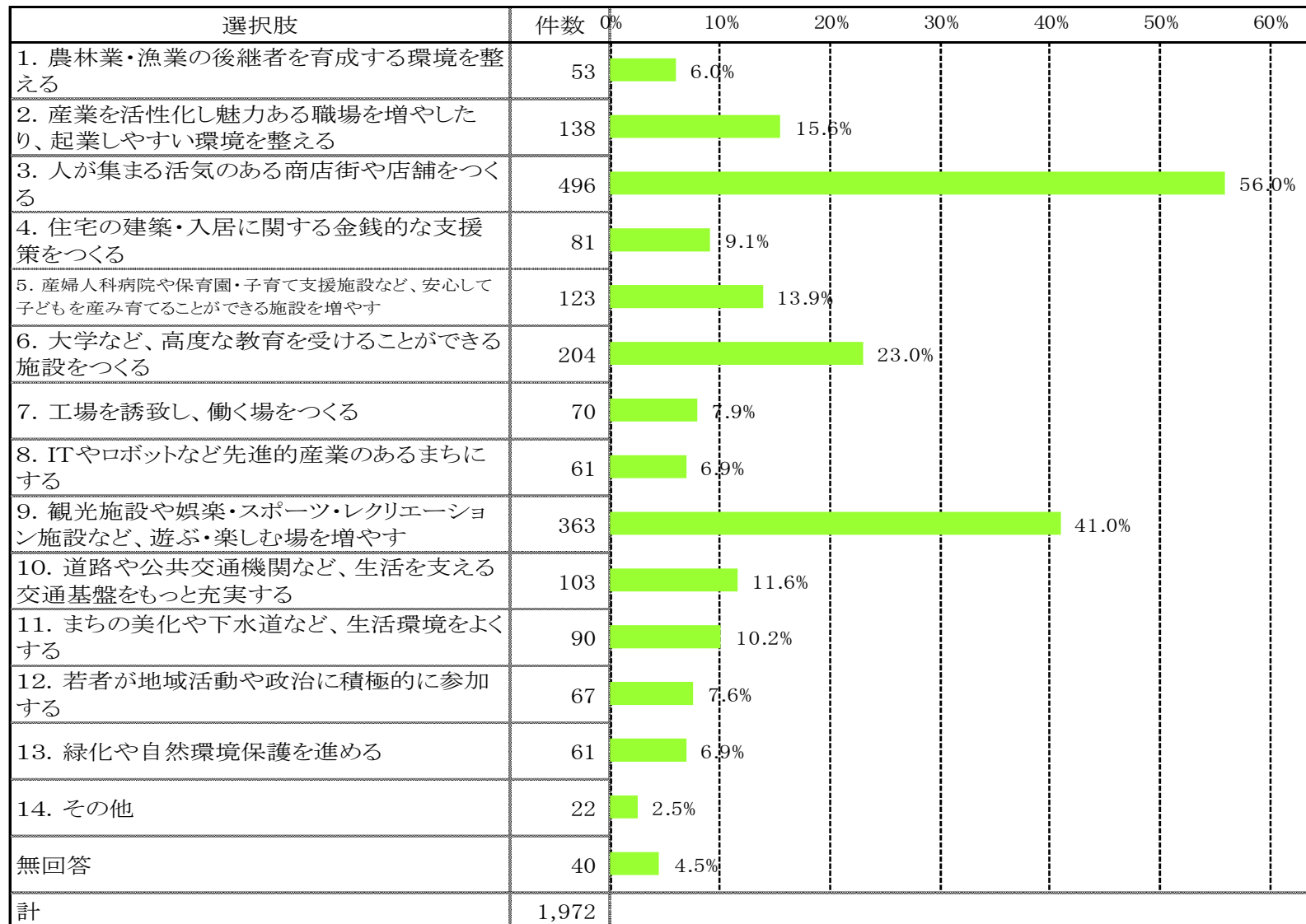
④掛川市の魅力向上に関する質問数 37問

- ①「松井ビジョンを強調して、第二次掛川市総合計画」を
- ②2期目の松井市政の基本理念としての「希望」について
- ③松井市長が所信表明として提示したまちづくり像の実現へ向けた方法について
- ④東名・新東名PAのスマートIC早期開設計画は
- ⑤中東遠中心都市掛川市の駅前シンボル東街区再開発について
- ⑥報徳の教えを活かしたまちづくりを推進するためには
- ⑦世界農業遺産を活用した掛川市の振興策と魅力発信事業について伺う
- ⑧新市建設計画の意義と位置付けについての考え方を伺う
- ⑨「海山連携のまちづくり」推進の考え方を伺う
- ⑩世界農業遺産登録と今後の取り組みは
- ⑪超高齢社会と人口減少社会の到来にどう立ち向かうか。
- ⑫お茶のまち掛川として、茶業振興に向けた取り組みは
- ⑬「市民活動日本一」で、市民は満足するか
- ⑭内陸フロンティア構想策定への取り組みは
- ⑮開発・発展なるか掛川市の北西部地区
- ⑯健康医療日本一のまちづくりには緑茶を活用した取組を
- ⑰地域の活性化について

- ⑱個性ある商店街の活性化に向けて
- ⑲和産和食の普及の促進に関する条例化を制定する考えは
- ⑳民間遊休地を活用した土地利用促進の考え方について
- ㉑**第二次総合計画の早期策定の意義と期待について ★**
- ㉒ミラノ万博で掛川市をどのようにPRするのか
- ㉓中心市街地活性化の次期計画は
- ㉔中東遠・志太榛原圏域の中心都市ビジョンは
- ㉕茶業の生産性向上に向け農業振興ビジョンの見直しを
- ㉖市民活動日本一実現の取り組みは市民の理解を得て推進を
- ㉗掛川茶を日本全国そして世界へ
- ㉘明るい未来が展望できる総合計画策定を
- ㉙茶草場農法の世界農業遺産認定の効果は
- ㉚文化政策の推進について
- ㉛ふるさと納税制度のさらなる活用を
- ㉜掛川茶を、日本全国はもとより世界に発信しよう
- ㉝内陸フロンティア構想の推進方策は
- ㉞三つの日本一について
- ㉟シティープロモーションの推進が必要では
- ㊱世界農業遺産としての価値を高めるには
- ㊲**地方創生計画により若者の声を ★**

高校生意識調査

掛川市に住みたい・働きたいと思うために必要な取組み



※3つ以上回答した人

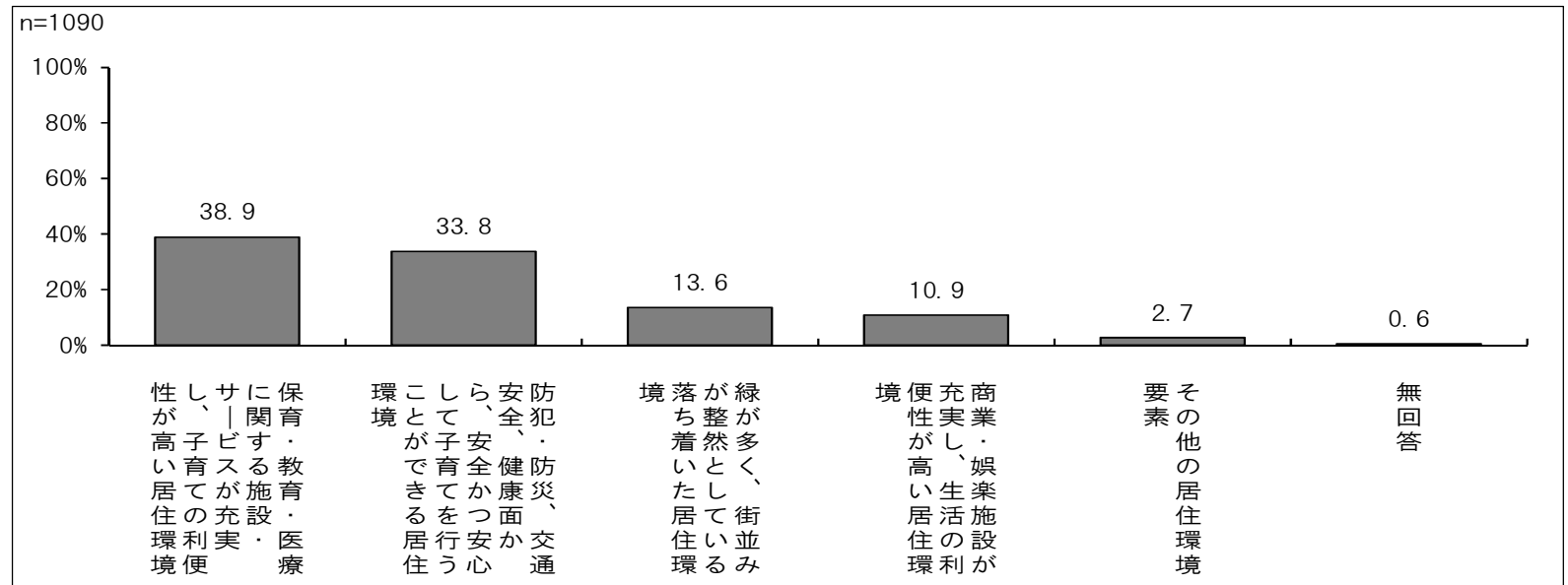
431人

複数回答

H27年度調査 市内の高等学校に在席する3年生男女 対象913人

結婚・出産・子育て意識調査

求める居住環境等について



平成27年度調査, 市内在住の20歳代から40歳代の市民の中から3,000人を抽出

今後、掛川市が行う第2次総合計画の中で若者に着眼点を置いての戦略を考えていくよう市政に提案していきます。